



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月28日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-5210-6688  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,896	—	△235	—	△224	—	△224	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△10.37	—
2025年12月期第1四半期	—	—

(注) 2025年12月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2026年12月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年12月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	15,435	11,556	74.9	533.13
2025年12月期	16,142	12,181	75.5	561.96

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 11,556百万円 2025年12月期 12,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	24.00	49.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年12月期の配当方針につきましては、安定した配当の実施を目指し、基本目標を配当性向30%といたしますが、財務の健全性及びフリー・キャッシュ・フローを総合的に勘案した上で実施することといたします。

### 3. 2026年12月期の業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	△59.0	△700	—	△700	—	△800	—	△36.91
通期	14,400	△39.5	△700	—	△700	—	△800	—	△36.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	34,471,000株	2025年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	12,794,671株	2025年12月期	12,794,671株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	21,676,329株	2025年12月期 1 Q	21,660,365株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(持分法損益等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の増加等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。個人消費は持ち直しの動きがみられたものの、一部に弱さがみられました。また、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化、原材料価格・エネルギー価格の高騰、通商政策を含む米国の政策動向、金融資本市場の変動の影響等により、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境の下、当社は、ミッション「正しい情報を効率的につなぐ」に基づき、多くの情報から正しい情報を導き出し、その情報を必要とする方々へ効率的に届けることに注力した結果、経営成績は次のとおりとなりました。

当第1四半期累計期間は、2025年7月31日付で、オンラインモールのストア向けクリック課金型広告「StoreMatch（ストアマッチ）」及びCRMツール「STORE's R∞（ストアーズ・アールエイト）」に係る取引契約が終了した影響を大きく受けたことにより、売上高は2,896百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、戦略的投資を継続する一方でコストカットを実施したことにより、1,260百万円となりました。

営業損失は235百万円、経常損失は224百万円、四半期純損失は224百万円となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ①マーケティングソリューションズ事業

マーケティングソリューションズ事業は、コマース事業者の集客と販売促進を支えるソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」であります。

当第1四半期累計期間におきましては、「アフィリエイト」について、ショッピング分野は好調に推移しましたが、金融分野において一部広告主の広告出稿方針の変更等がありました。この結果、セグメント売上高は2,608百万円、セグメント利益は289百万円となりました。

#### ②トラベルテック事業

トラベルテック事業は、宿泊施設への集客とDXを支えるソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、宿泊予約システム「DYNA IBE（ダイナ アイビーイー）」及びホテル管理システム「DYNA PMS（ダイナ ピーエムエス）」であります。

当第1四半期累計期間におきましては、一部宿泊施設チェーンにおける契約の見直しを行いました。この結果、セグメント売上高は291百万円、セグメント損失は73百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は15,435百万円となり、前事業年度末と比べて706百万円減少しました。

流動資産は13,978百万円となり、前事業年度末と比べて1,067百万円減少しました。これは、主に現金及び預金が954百万円減少したことによるものであります。

固定資産は1,457百万円となり、前事業年度末と比べて360百万円増加しました。これは、主に投資有価証券が231百万円、投資その他の資産のその他が100百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は3,879百万円となり、前事業年度末と比べて81百万円減少しました。

流動負債は3,685百万円となり、前事業年度末と比べて136百万円減少しました。これは、主に賞与引当金が112百万円増加したものの、未払金が262百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は11,556百万円となり、前事業年度末と比べて625百万円減少しました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により520百万円、四半期純損失の計上により224百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は10,072百万円となり、前事業年度末と比べて954百万円減少しました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は269百万円となりました。これは、主に税引前四半期純損失が224百万円であり、プラス要因として、売上債権の減少額が198百万円であったものの、マイナス要因として、未払金の減少額が272百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は174百万円となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が159百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は510百万円となりました。これは、配当金の支払額が510百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年1月30日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました2026年12月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,026	10,072
売掛金	2,198	2,000
前払費用	211	180
未収入金	1,400	1,344
未収還付法人税等	126	128
その他	97	267
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	15,045	13,978
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	—	12
有形固定資産合計	—	12
無形固定資産		
ソフトウェア	—	14
無形固定資産合計	—	14
投資その他の資産		
投資有価証券	757	989
その他	477	578
貸倒引当金	△137	△137
投資その他の資産合計	1,096	1,429
固定資産合計	1,096	1,457
資産合計	16,142	15,435
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,237	1,241
未払金	2,303	2,041
賞与引当金	—	112
その他	280	290
流動負債合計	3,821	3,685
固定負債		
繰延税金負債	139	193
固定負債合計	139	193
負債合計	3,961	3,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,728	1,728
資本剰余金	1,224	1,224
利益剰余金	20,427	19,682
自己株式	△11,499	△11,499
株主資本合計	11,880	11,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	300	420
評価・換算差額等合計	300	420
純資産合計	12,181	11,556
負債純資産合計	16,142	15,435

## (2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,896
売上原価	1,871
売上総利益	1,024
販売費及び一般管理費	1,260
営業損失(△)	△235
営業外収益	
アフィリエイト報酬精算益	0
事業譲渡益	10
その他	3
営業外収益合計	13
営業外費用	
投資事業組合運用損	1
為替差損	0
その他	0
営業外費用合計	1
経常損失(△)	△224
税引前四半期純損失(△)	△224
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等合計	0
四半期純損失(△)	△224

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△224
減価償却費	0
株式報酬費用	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0
受取利息	△0
投資事業組合運用損益(△は益)	1
事業譲渡損益(△は益)	△10
売上債権の増減額(△は増加)	198
仕入債務の増減額(△は減少)	3
未収入金の増減額(△は増加)	55
未払金の増減額(△は減少)	△272
その他	△20
小計	△260
利息の受取額	0
法人税等の支払額	△9
営業活動によるキャッシュ・フロー	△269
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△9
無形固定資産の取得による支出	△14
投資有価証券の取得による支出	△159
事業譲渡による収入	10
差入保証金の差入による支出	△0
差入保証金の回収による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△954
現金及び現金同等物の期首残高	11,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,072

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第1四半期累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション ズ事業	トラベルテック 事業	計		
売上高					
成果報酬型広告 「アフィリエイト」					
ASP	510	—	510	—	510
コンサルティング	1,329	—	1,329	—	1,329
オプション	638	—	638	—	638
DYNATECH	—	287	287	—	287
その他	130	—	130	—	130
顧客との契約から 生じる収益	2,608	287	2,896	—	2,896
外部顧客への売上高	2,608	287	2,896	—	2,896
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	3	3	△3	—
計	2,608	291	2,899	△3	2,896
セグメント利益又は セグメント損失(△)	289	△73	216	△452	△235

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△452百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)

当社が有している関連会社は、利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性が乏しいため、記載を省略しております。